

Talk & Talk 市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は広報広聴係（〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所企画財政課）です。

ペットブームに よせて

横山直子(上茨)



写真の左側の大きな猫。実は雄です。広報しろねの情報センタ―に「尋ね猫」で飼い主を探しましたが、見つかりませんでした。小さな子猫をお母さんのように世話しています。捨てられた同じ身の上が分かるのでしょうか。

あちこちで、捨て猫や捨て犬をたくさん見かけます。そんなとき「飼い主は自分の心も捨てているのに」と思ってしまう私です。

雌猫や雌犬は、体が小さく、動作が可愛らしいという良さを持つています。そのため、飼う人が多いのかもしれませんが、子供が必要でないなら、ぜひ避妊手術をしてください。二万円が必要ですが、かわいそうな捨て猫・犬、迷い猫・犬を出さないために、ぜひお願いします。

残念なことに市内には動物のお医者さんがありませんが、近隣にはあります。ちなみに子猫は市内の方にもらっていたら、大きくなって避妊手術も去勢手術も済ませました。我が家にいる四匹の猫も同様です。このごろはペットブームと

か。心豊かに過ごすために、ペットを飼うのはお勧めします。ただし、自分のペットに責任を持って飼いたいものです。

素晴らしい 日本画と健康

袖山ヨイ(後町)

阪神大震災から一年が過ぎました。昨年は震災とサリンに暮れた一年でした。改めて災害のすさまじさを思い、被害に遭われた家族の方々のめい福をお祈りいたします。今年の子の年、ネズミは福を運んでくるとか。きつと良い年であることを願っています。

今年、私たちにとっては、記念すべき年になります。家族も大病もなく皆元気で、私たち夫婦もおかげさまで金婚式を迎えることができます。また、主人が七十七歳の喜寿を同時に迎えることができ心から感謝しています。健康とは、こんなに素晴らしいものと私を生んでくれた父母に多大な感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな新しい年と共に、日本画の巨匠長井亮先生の個展がカルチャーセンターで開催されました。白根市が生んだ素晴

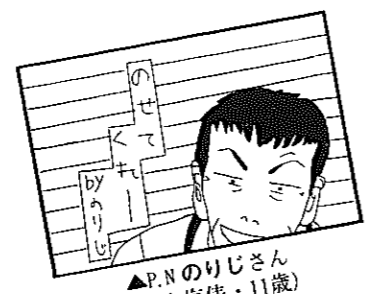
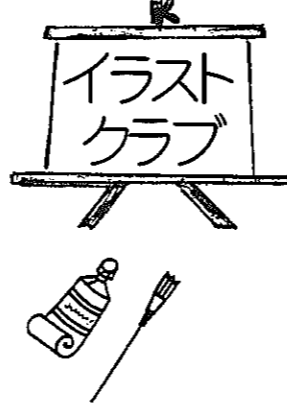
しい先生の日本画が拝見でき、心が洗われる思いがしました。と同時に、作品の搬送や展示をはじめ、会場内での気配りの行き届いた実行委員の方々のご苦勞に頭の下がる思いでした。

会場では、長井先生の穏やかなお顔も拝見でき、また言葉を掛けられたことは素晴らしいお年玉でした。また、先生の健康の秘けつをお聞きしたところ「いつの間にか九十二歳になつてしまった」という言葉が返ってきました。私は「年は取るものではない。いつの間にか来るものなんだ。よし、私も今日から年のことを思うのをやめよう」と思いました。そして今、「十歳くらい若くなった気分、生き生きと楽しく、前向きで豊かな心と明るい気持ちで頑張ろう」と思っています。絵で例えるならハートを淡いピンク色に塗つたような気分。そんな気分で金婚を新婚に切り替えてみようかなという思いです。

郷土が生んだ巨匠長井亮先生は、白根市に素晴らしいプレゼントを送ってくださいました。感謝申し上げますと同時に、先生のご発展とますますの健康を心よりお祈り申し上げます。健康の素晴らしさを何物にも替えがたい宝物と感謝しています。

イラストクラブ

◎イラストははがきに黒一色ではっきりと。
◎薄い鉛筆書きはボツにします。
◎ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を進呈。
◎締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。
◎あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所広報しろねイラスト係



広報クイズ

【応募方法】 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係（〒950-12 白根市大字白根1235）へ。締め切りは3月14日（木）必着。正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

【問題】
①来年度から実施される行政システムの改革は、昭和六十年以来、何年ぶりのこと？（ヒント＝2ページ）
A=10 B=20 C=15
②ワカサギには牛乳の何倍のカルシウムが含まれている？（ヒント＝10ページ）
A=7.5 B=5.5 C=6.5
③白井地区公民館で作った鍋は？（ヒント＝13ページ）
A=アンコウ B=ばたん C=カキ

【当選おめでとう】 先月の正解は①A②B③Aでした。【図書券】池田哲子（高井東） 藤崎知子（魚町） 星野明美（旭町） 小嶋ノリ（朝捲） 赤塚ひとみ（水道町） 【自然科学館招待券】道見龍之介（戸頭） 小野優美子（鷲ノ木新田） 栗田裕美（下茨）

今月のハガキから

◎高校一年も、もう終わり。やっと慣れてきたと思っても、冬の朝六時起きはやっばりつらい。それにバスが遅れて電車に乗れなかったりといういろいろ大変。早く雪がなくなってくれるといいけど。（A）
◎「薬の正しい飲み方」を読んで改めて知ることが幾つかあり、とても勉強になりました。でも、できるだけ薬の世話にはなりたくないですね。健康が一番の幸せです。（T）

市民文芸

俳句
戦争も語りぐさとし年始かな 吉川八重子
胸張ってとん／＼歩く初鵝 小林 光子
一病のありて息災去年今年 豊木サダ子
三日はや畑に鉄の音のする 五十嵐寛吾
ころがして来て餅白を握るにけり 成沢 素明
言葉まだ乏しき孫の初電話 笠原 里津
大寒の川音もなく流れをり 猪股 南魚
初句会白根紋の羽織佳し 公條 雪夫
茹干菜紐張り足して掛けにけり 小林 すみ
煤柱煤の帯戸に年立ちぬ 山田 孝
御降は小雪まじりてありにけり 細界 漢子
赤谷は山陰の村大氷柱 安沢 飛浪
折鶴を窓辺に吊し二月空 小林富沙子
和紙買ふて和紙の白ひる二月かな 真島つぎえ
夕霧の底より流る川二月 間島きよ子
二月市荒れてまばらの田舎町 小林 なお
家族みな無病息災二月くる 遠藤 大蔵
霜やけの痒み薄れて二月かな 金子 千代
二ノ月の山に笥の石切場 塚本 静子
橋脚に水の影らむ二月かな 田中美根子
電線に無口な鴉二月雪 丸山 虚秋
弥彦翁の墨絵ばかしに二月雪 間島 秀穂

短歌
我もまた遠からず受くるや介護とう 村山 和江
記事に引かるる歳となりたり

太き鯨ぶつ切りにして売る店の 威勢よき声透るさむ空 佐藤ケイ
いづくにか旅行せし子が無吉にて 我が好物の抽餅子差し出す 田中恭子
七十歳に残る意欲をかきたてて 短歌に生さんと己に誓う 星ハツノ
芽吹き初めし枝垂れ柳の遠く 川治いの道前黄にけぶる 飯井いくの
沖繩の新鴻の塔に顔きて 親しき友が二人見えたり 小出熊四郎
沖繩の雲なくさむと行きし夫 名を見つけたりと今電話あり 小出よしの
嵐やみ早春の陽輝やきて 広い雪原白く光りて 河内勝哉

川柳
水たまり可愛い會孫に肩を貸す 佐藤 トミノ
ハハに貸す肩が弱気になつてゆく 佐藤 ヨキ
一言が抜けてリズムが狂い出す 田村 恒夫
広辞苑もわからぬ雪のオストメス 高橋祐四郎
住専の始末論吉の泣き笑い 中村 尚治
兼一本縫った過去の命の譜 西条 ムラ
手の届く距離に娘と孫が居る 山岡 フミ
年金が目減り野党の貌になる 吉川 彰
同じ血が流れる息子の出来不出来 今井 七郎
抱いた写真の亡父が重たい徒食の日 織田 福治
無駄口を叩く女がよく太り 織田 セツ
レントゲン酒量を誇る影がある 大谷 龍吉
セーターの出来る頃は恋が冷め 後藤マサノ
ごつい顔して注射器に目をつぶる 今井八重子